

# ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

|                            |                                                                                                                                                                                                                         |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教員氏名                       | 彦坂 眞一郎                                                                                                                                                                                                                  |
| 主な担当科目                     | 室内楽Ⅰ,室内楽Ⅱ,器楽                                                                                                                                                                                                            |
| 2025年の<br>教育目標・授業に<br>臨む姿勢 | 本年も昨年に引き続き、ビート感覚不在による演奏技術向上の妨げについて研究するとともに、これらの学生に対する指導法を模索し、実践することで状況の改善を目指した。また、奏法上で一般的に流布している間違っ言説について、これらを客観的な視点を持ち、自らの集中力を使い見極めることが必要であると指導した。奏法は、様々な角度から感じることができるものであり、学生一人ひとりがそれぞれ違う認識を持っているため、各学生の個性を見極めることとした。 |
| 2025年の教育に関<br>する自己評価       | ビート感覚不在の学生への指導は、身体でビートを生み出し続ける実践を地道に繰り返すことで改善に向かうという結果を得た。そもそもこれらの傾向を持つ学生は、全く違う「音を並べる」という感覚を使っていることが原因であると確信できたことは、大きな成果であった。私にとって今後の指導に活かせる重要な発見を得た年であった。                                                              |
| 2025年のFD活動<br>に関する自己評価     | FD研修会等では、毎回多くのことを学ぶ機会が得られ、特に直接的に自分の教育に関するこの場合は大変有意義な時間だと感じている。これから必ず起こるであろう教育環境を含めた社会の変化を予測し、適切に対処していくことの重要性を認識できたことは、とても重要である。                                                                                         |
| 授業改善のために<br>取り入れた研修内容      | 私が担当しているのは個人レッスンと室内楽なので、直接的に上手に活かせることはできなかったが、今後卒業していく学生たちが将来直面するであろう状況について説明し、その時に備えることができるよう、考えながら授業を行った。                                                                                                             |

## 2025 年度(秋学期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード: 572 教員名: 彦坂眞一郎

### 1) アンケート結果に対する所見

私が関係している授業は実技系だけだが、今のやり方で良いという結果を得たと解釈している。設問の中に、「自分はこのレッスンの教育到達目標を達成できた」があるが、答えとしては、「まだまだ足りない。現時点での自分は何も分かってはおらず、精進しなければならない。」と答えることが最も好ましい回答であるべきなので、この設問の目的は何であるかと毎回疑問に思っている。

### 2) 要望への対応・改善方策

実技レッスンは、一人ひとりの状況に応じて必要なことが違ってくる。能力が優れている学生は瞬時に全てを吸収するが、習得に時間を要する学生には指導効果が表れにくいことも多い。全員に上達の意志を感じているが、上達が見られない学生には何が足りないのかを見極めることは大変難しい。しかし、長年の経験の中で日々発見があり、ほんの少しだが効果が認められている。

### 3) 今後の課題

同上。そのような学生を、どうしたら上達へ導けるか引き続き研究してゆく。

以 上